

八幡平・岩手山・早池峰山

山行日：2016. 6. 30～7. 2 参加者：hi、ha、ko、ni、ya 天候：曇り後晴れ
コース：30日東京/6:32ー盛岡/8:45ー八幡平/11:40 1日馬返し/5:30ー岩手山/10:10ー
馬返し/15:00 2日小田越/6:00ー早池峰山/8:20ー小田越/10:35ー新花巻/14:00



新幹線車内からは北へ向う
に従って雨が強くなるが

仙台を通過すると
明るくなってきた

八幡平では青空が
広がってきた





二日目岩手山

岩手山の山開きに合わせてやってきた



早朝5時半でこの賑わい
間もなくセレモニー開始





往路は新登山道に行く
灌木帯での急登を我慢して行くと
これで避難小屋？と思ってしまう立派な
八合目避難小屋

ここからさらに一踏ん張り
富士山と同じような噴火口がある



12時からこの山頂で3市合同の
山開きのセレモニーが執り行われる

雲の切れ間から下界が
望まれたものの
盛岡市内は見えただが
早池峰山は雲の中





お釜を回り込む途中に
コマクサが一輪



岩手山頂
が気高く
見えた



焼け走り
コース
からも
続々と
山頂に
向かって
来る



お釜を一周
して下山する
途中から

いろいろな
団体旗を
もって
続々と



我らは新登山道の岩場を一路まっさかさまに下って行く

三日目：早池峰山

土日の週末は交通規制で
シャトルバスで登山道へ





灌木隊を抜けると
岩場の急登がつづく



さすがにハヤチネウスユキソウは
気品が漂っている

ここに来ると辺り一面に咲き誇っていた





唯一の難所である梯子を越えて



稜線を回り込むと
紅い屋根の小屋があり
山頂到着

着いたとたんに
ガスが濃くなってきた

立派な避難小屋があり
ここにもボランティアが
詰めていた





午後から雨の予報
にも関わらずに
多くのハイカーが
登ってくる

クマ避けの一斗缶
だいぶ使い込まれていた

早池峰山は沢山のボランティアの方々が
要所におりこれらの努力によって自然環境が
維持されていることを知った

